

醫

明博愛（いみょうはくあい）——。

日本大学医学部の教育理念は、この4文字に凝縮されている。博愛の精神を持ち、医療によって患者を明るくし、医学によって未知の領域を明らかにし、医学を学ぶ者にその門を明ける、ということだ。

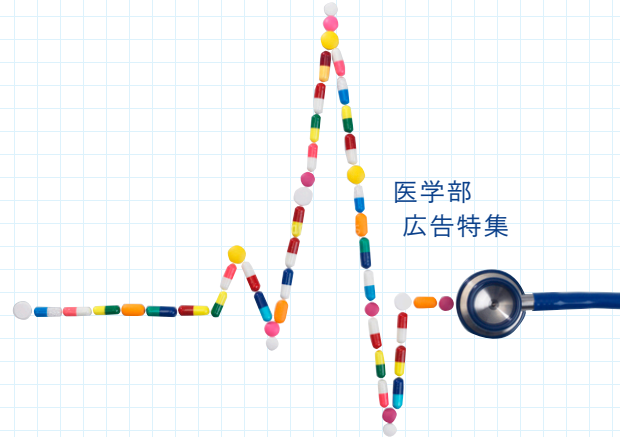
「日本大学の建学の精神である自主創造を基本に、医学部では、高い人間力を有する医師、学際的視野を持った研究者、次世代リーダーを育成する熱意ある教育者を育てるという教育目標を掲げています。思いやりの心を持った臨床医、新たな治療法などを考える力を持った研究者、自分の学んだことや経験を後進に伝えていく医師を育てるのが、私たちの目指すところですよ」と相澤信医学部次長は紹介する。



相澤 信

医学部次長
医学博士
機能形態学系生体構造医学分野教授

医学部
広告特集



質の高い

少人数教育と

総合大学の

利点を生かす

そうした考え方の下、日本大学医学部では、少人数で学生がディスカッションしながら学んでいく教育を実施している。たとえば問題基盤型学習では、症例などをテーマに6〜7人でディスカッションし、それを講義で補うという方法が取られる。授業に能動的に参加し、自ら考え、問題を解決していく力を養うこうした手法を、同大学部は早くから導入し、成果を上げてきた。

また、日本大学という総合大学の一学部というポジションを生かし、医学部は他学部との連携も積極的に行っている。一例をあげると、生産工学部、歯学部、生物資源科学部と共同で「成熟細胞脱分化による組織再生メカニズムの解明と脱分化培養技術を用いた

日本大学

日本大学 医学部
（お問い合わせ） 東京都板橋区大谷口上町 30-1
03-3972-8123 www.med.nihon-u.ac.jp

細胞治療開発」という学長特別研究が進められている。

相澤次長は「本学には、歯学部、薬学部、生物資源学部等の生命科学系の学部があり、また、工学部には臨床工学技士課程が設置されています。医学部はそうした他学部・他学科といつでも連携が取れる態勢にあります。現在の医療現場には医学の知見だけでは対応しきれない領域もあり、本学部は恵まれた教育・研究環境にあると言えますよ」と語る。

もう一つ、英語教育に力を入れているのも同学部の特徴だ。患者とのコミュニケーションの取り方など実際の臨床の場に即した実践的な医学英語教育で、相澤教授も自身の専門である解剖学を日本語と英語の両方で指導して

いるという。

医学部の卒業生は累計で1万人超。自主創造の精神に基づくリーダーシップを発揮し、各地の医師会のトップに就任している卒業生も多い。日本国内にとどまらず海外でも多くの卒業生が医師や研究者として活動していることは、在学生にとっても心強い限りだ。

7年後には医学部開設100周年を迎える。それに向けて一昨年には法人本部が御茶ノ水の日本大学病院を新築し、板橋の医学部附属病院も建て替えを検討している。教育研究環境の一層の充実が図られ、日本大学医学部からはこれからも数多くのよき臨床医、優れた研究者が巣立っていくことだろう。



80年以上にわたり、優秀な人材を輩出してきた医学部本館